

令和8年6月30日(火)



旭中学校だより

＜学校の教育目標＞

- 学び続ける生徒
- 思いやりのある生徒
- やりぬく生徒
- たくましい生徒

共に認め合う関係づくり

校長 久米達夫

6月、湿気を含んだ風が吹き、気温はそれほど高くなくても、少し体を動かただけでじんわりと汗ばむ季節となりました。学校は室温の上昇に合わせて、エアコンを使用するなど熱中症対策を始めているところです。

さて、6月5日に本校の体育祭が実施されました。生徒会スローガン「キ」が提示され、生徒一人一人がさまざまな「キ」を意識して練習そして本番に臨みました。私からは「本キ(気)」「やるキ(気)」「キずな(絆)」を大切に取り組んでほしいと伝えました。

生徒たちは体育祭の意義を理解し、例えば、3年生の徒競走の時、スタートと同時にみんなででんぐり返しをしてスタートするなど、周りの人を「楽しませ」ながら自分も「楽しみ」、しかしながら最後は「真剣に」ゴールを目指す姿で、観客のみなさんにも見ごたえのある競技になったことと思います。

本当に、どの競技に対しても真剣に取り組む姿には本当に感動させられました。特に最後の「代表リレー」では、アンカーが壮絶なデッドヒートを繰り広げ、それに対して生徒の皆さんも走っている人と一緒になって精いっぱい応援をする姿、そして僅差でのゴール、ゴール後倒れこんでいるアンカーを務めた2人に対して生徒の皆さんが駆け寄って、勝ち負け関係なく惜しめない拍手をする姿、最後の閉祭式でもイエロー・ブルー両チームをそれぞれが拍手で健闘を称える姿は本当に美しかったです。

6月末現在、後志中体連がひと段落したところです。結果としては、本校生徒が所属している地域部活動で、「ブルータス(野球)」と「FC余市(サッカー)」がそれぞれ優勝を飾り、全道大会に駒を進めることになりました。また、バドミントンでは女子のダブルスが「代表決定戦」に進出しました。残念ながら勝ち星に恵まれなかった競技もありましたが、私も各会場で応援をさせていただきました。最後まで勝負をあきらめことなく粘り強く頑張る姿、そして選手と同じ気持ちで必死に応援する生徒の姿を見ることができました。生徒一人ひとりに「自分事として考える」姿勢が身についてきていると実感させられました。

あと1か月で夏休みに入ります。1学期間の自分たちの頑張りを互いに認め合い、そしてさらに身に付けるべきことを学び合い、高めていくことができるよう、教育活動を進めて参ります。保護者・地域の皆様、これからも生徒を温かく見守りいただき、またご協力を賜りますようお願いいたします。